



シスコ エンタープライズ企業向けマンスリーウェビナー

シスコのサステナビリティ戦略

シスコのサステナブルなテクノロジー

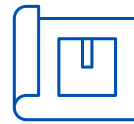
シスコシステムズ合同会社
エンタープライズ ソリューションズエンジニアリング
坂部 晴久

2024年10月16日



シスコジャパン ビジョン

テクノロジーイノベーションで日本の未来価値を創造



お客様ビジネスの成功



日本の持続的成長と社会変革

注力分野



セキュリティ



サステナビリティ



AI

ビジネス変革



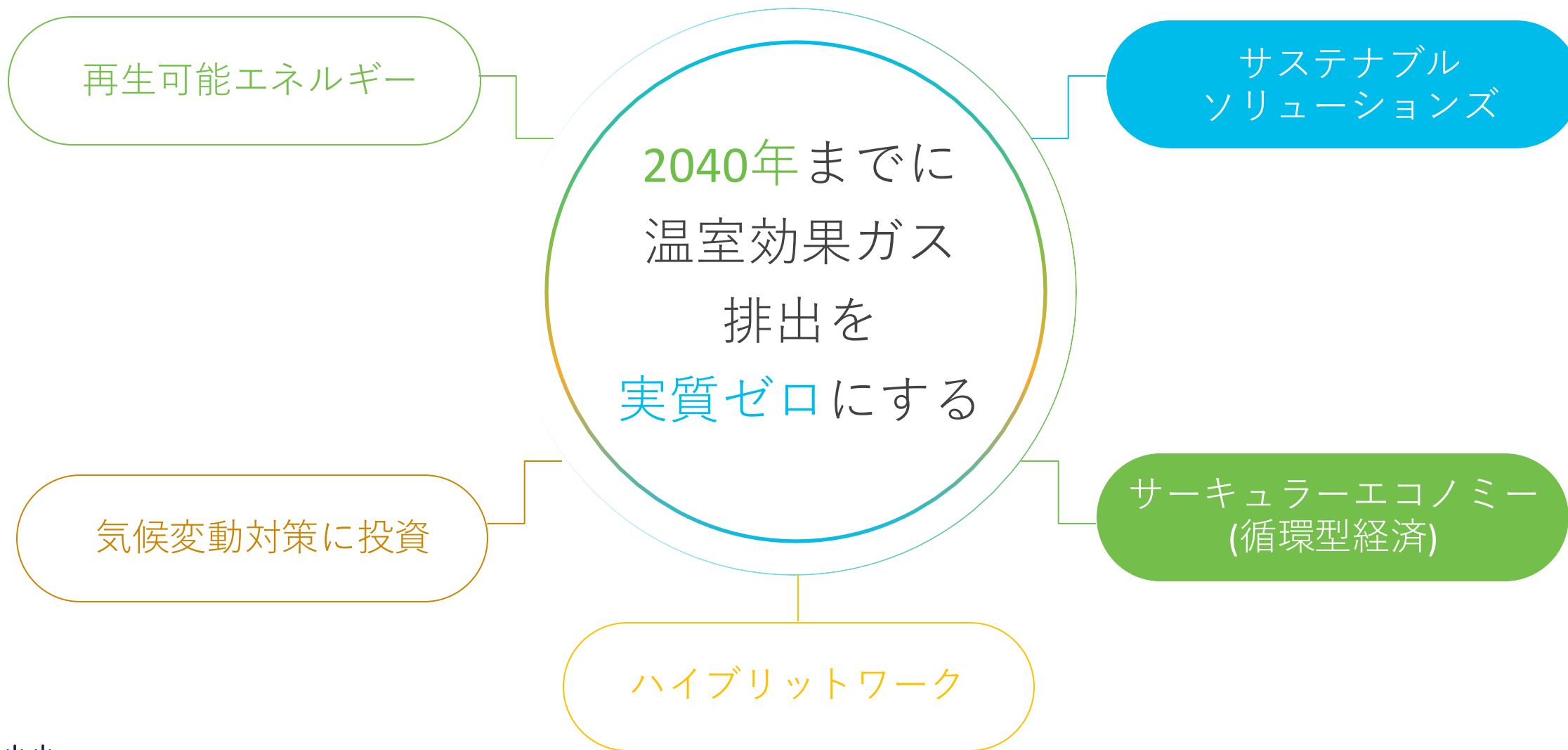
サブスクリプション
モデル

企業文化



自律分散型組織

シスコのサステナビリティへの公約



グローバルのトレンドとシスコのポジショニング

規制のプレッシャー
(環境に関わる目標設定)

**130**カ国

ビジネス上の必要性
(サステナビリティは最優先事項)

**73%**CxO

ITのモダライゼーション
(エネルギー消費に大きな影響)

**AI**

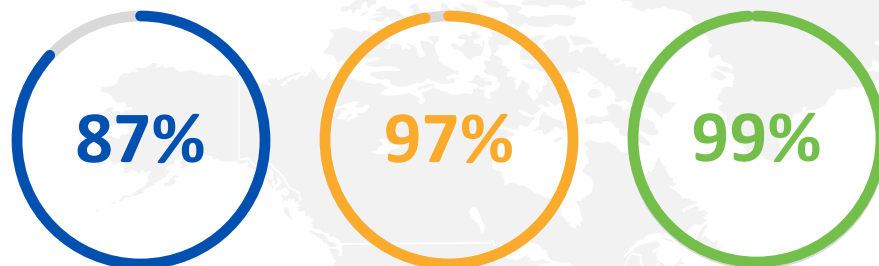
CDP (Carbon Disclosure Project) におけるシスコのスコア

	シスコシステムズ	A社	B社	C社
2022年	A	B	C	B-
2021年	A-	A	C	F
2020年	A	A-	C	F
2019年	A	A-	C	F

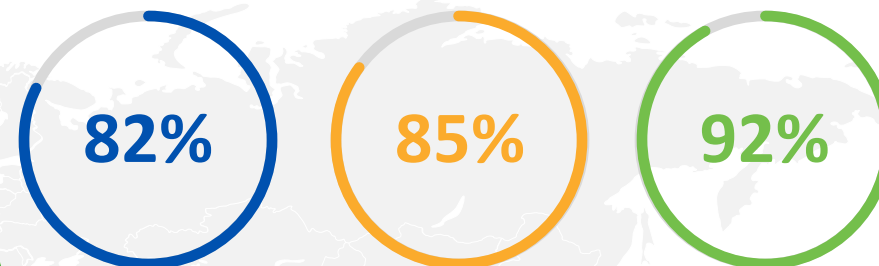
あなたの組織は “Innovation-Ready” ですか？



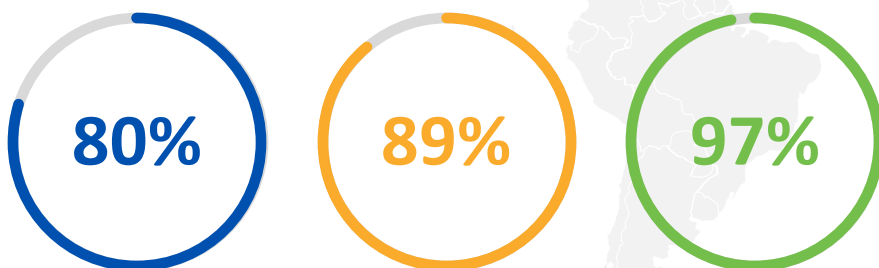
所属組織の革新性



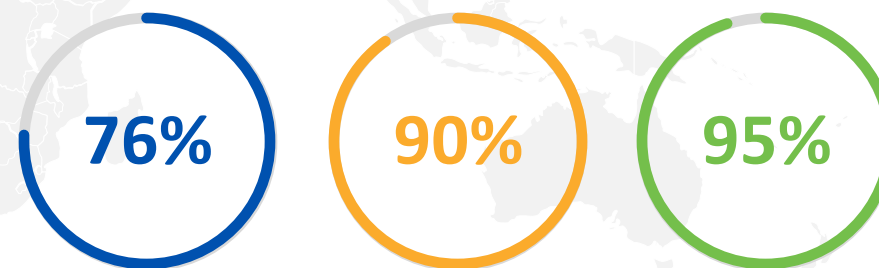
シンプルであることの重要性



可視化と顧客体験



技術革新とサステナビリティ



日本のトレンド：着々と進むサステナビリティ情報開示

SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）
銘柄認定による企業イメージと株価の向上



申請・お問合せEnglishサイトマップ本文へ文字サイズ変更印刷アクセシビリティ支援ツール

ニュースリリース

会見・談話審議会・研究会統計政策について

ホーム>ニュースリリース>ニュースリリースアーカイブ>2024年度4月一覧>「SX銘柄2024」を選定しましたEnglish

「SX銘柄2024」を選定しました

2024年4月23日同時発表：東京証券取引所

経済産業

経済産業省と株式会社東京証券取引所（以下、「東証」という）は、SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）を通じて持続的に成長原資を生み出す力を高め、企業価値向上を実現する先進的企業群を、「SX銘柄」として、選定・表彰することとしています。東証上場企業を対象に、2023年10月2日から11月30日の間に募集を行い、この度、初回となる「SX銘柄2024」に15社を選定しました。2024年5月24日のSXシンポジウム2024においてSX銘柄2024の表彰式等を予定しています。



1. SX銘柄とは

SXとは、社会のサステナビリティと企業のサステナビリティを同期化させ、そのために必要な経営・事業変革を行い、長期的かつ持続的な企業価値向上を図っていくための取組です。SXを通じて持続的に成長原資を生み出す力を高め、企業価値向上を実現する先進的企業群を、「SX銘柄」として、選定・表彰します。

SX銘柄の公表を通じて、今後、先進的なSX経営の取組が日本の幅広い企業に普及していくとともに、国内外の投資家等との対話やエンゲージメントが一層促進されることで、投資拡大、ひいては資本市場における日本企業に対する評価が向上していくことを期待します。

2. SX銘柄2024選定企業

東京証券取引所上場企業を対象に、2023年10月2日から11月30日の間にSX銘柄2024への募集を行い、応募いただいた企業の中から、SX銘柄評価委員会での審査を経て、以下の15社をSX銘柄2024として選定しました。

経済産業省：「SX銘柄2024」を選定しました
<https://www.meti.go.jp/press/2024/04/20240423001/20240423001.html>

「有価証券報告書」内でのサステナビリティ情報開示の義務化

サステナビリティ情報の開示が27年3月期から義務化の可能性、IT化の検討が必須に

島田 優子 日経クロステック／



「2025年の崖」を生み出した「PCサーバー」部門顧客満足IT／製造／建設分野の製品・サ

早ければ2027年3月期以降、関連情報の開示が義務付けられると、順次対象となる企業に上場している全ての企業画だ。



サイト内検索Google 提供

ホーム金融庁について報道・広報政策・審議会等法令・指針等金融機関情報

ホーム > 政策・審議会等

サステナビリティ情報の開示に関する特集ページ

当ページでは、有価証券報告書等における企業のサステナビリティ情報の開示に関する情報を御紹介しています。

令和5（2023）年1月31日、企業内容等の開示に関する内閣府令等の改正により、有価証券報告書等において、「サステナビリティに関する考え方及び取組」の記載欄を新設し、サステナビリティ情報の開示が求められることとなりました。また、有価証券報告書等の「従業員の状況」の記載において、女性活躍推進法に基づく女性管理職比率・男性の育児休業取得率・男女間賃金格差といった多様性の指標に関する開示も求められることとなりました。これらの開示は、2023年3月期決算企業から適用とされています。

上記改正は、令和4（2022）年6月13日に公表された金融審議会「ディスクロージャーワーキング・グループ」報告における提言を踏まえた改正となります。

なお、当ページ以外にも、サステナビリティ情報の開示以外の記述情報を含めた情報については、「[企業情報の開示に関する情報（記述情報の充実）](#)」にまとめております。

金融審議会「ディスクロージャーワーキング・グループ」報告の公表について（令和4年6月13日公表）

議事録・資料等（金融審議会「ディスクロージャーワーキング・グループ」（令和3年度）

サステナビリティ情報の開示が27年3月期から義務化の可能性、IT化の検討が必須に
<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/00001/09326/>
金融庁：サステナビリティ情報の開示に関する特集ページ
<https://www.fsa.go.jp/policy/kaiji/sustainability-kaiji.html>

サステナビリティ目標達成に向けたシスコのご支援

サステナビリティ対応ソリューション



サステナブル データセンター

- 電力の可視化・管理
- 電力・冷却の効率化
- ワークロードの最適化
- ラック・スペースの最適化
- 資産のライフサイクル管理



スマート ビルディング

- 電力の可視化・管理
- 電力・冷却の効率化
- 利用率・スペースの可視化
- 環境状態に関する指標
- PoE ライトニング



未来のインターネット

- ネットワーク統合・長期使用・オープン化に向けた設計
- Cisco Silicon Oneで最適化されたチップ設計と性能
- IPとオプティカルの統合と自動化



産業別・業種別ソリューション



サステナビリティ支援サービス

サーキュラーエコノミー (循環型経済) 促進プログラム



Cisco Green Pay (ファイナンス プログラム) – お客様向け



Environmental Sustainability スペシャライゼーション – パートナー様向け

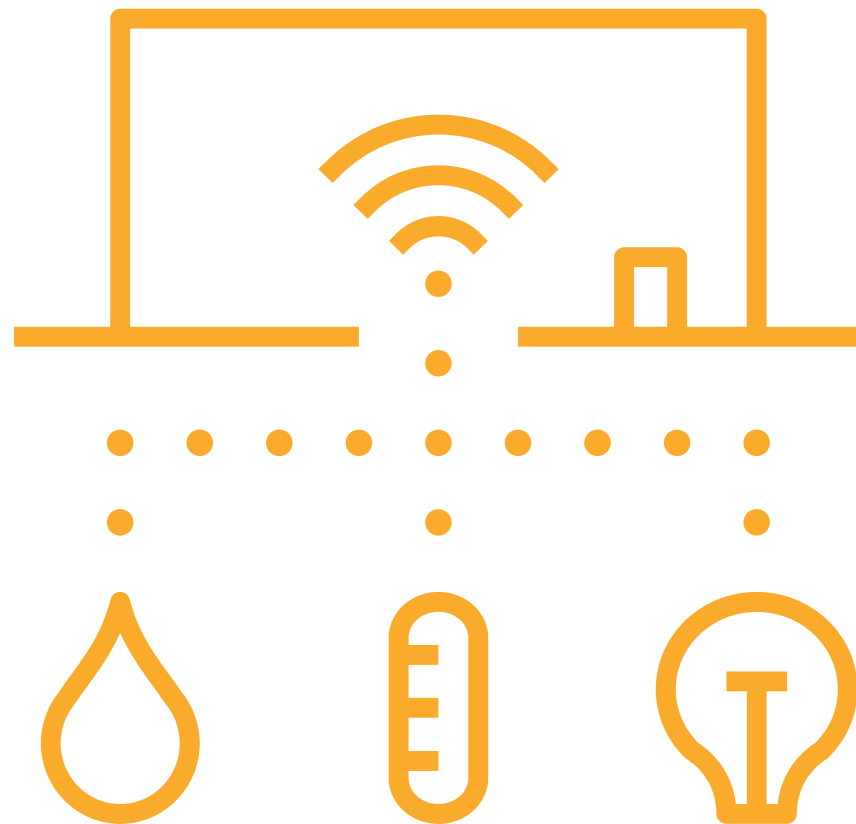


Cisco Refresh (認定再生品)

Energy Management

測定することができないものは、
コントロールすることができません。

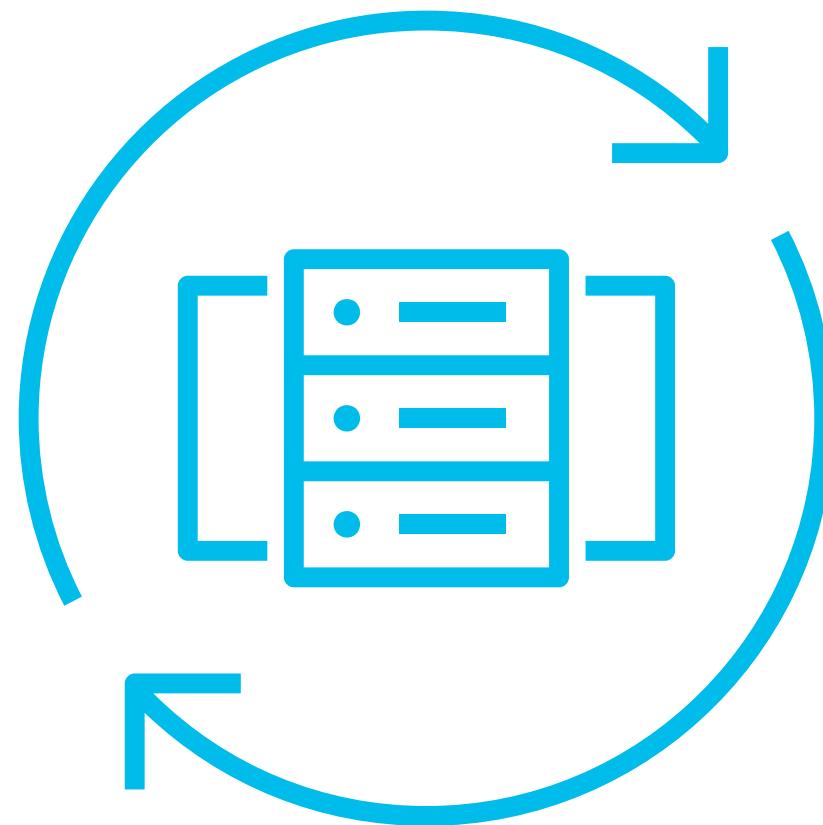
ネットワークは、エネルギー消費の最適化、
コストの削減、カーボンフットプリントの最小化、
組織全体のエネルギー使用と
エネルギーネットワークの監視を支援できます。



Sustainable Datacenters

2025年には、世界で181ゼタバイトのデータが生成されると予想されます。

グリーンリフレッシュを検討されるお客様は、より高い性能、エネルギー効率、循環型経済(製品の引取プログラムやモジュラーシステム)の仕組みから、ベネフィットを得ることができます。



サステナブル データセンターの基盤



ソリューション

- Nexus Dashboard
- Nexus 9800 Series
- UCS X-Series
- Meraki MT

実現すること

- ラックスペースを48分の1に削減
- 輸送量を200分の1に削減
- 輸送重量を62分の1に削減
- 電力消費の低減
- 電力効率性の向上
- Warm Water Liquid Cooling (Roadmap)
- Native DC Power Distribution (Roadmap)

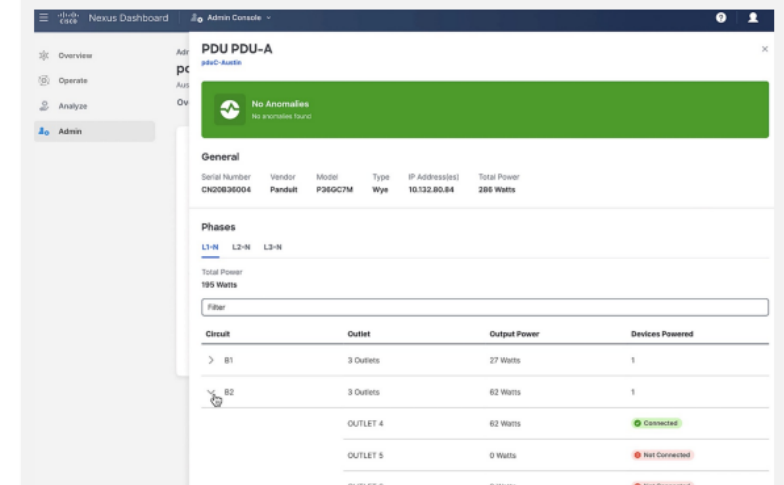
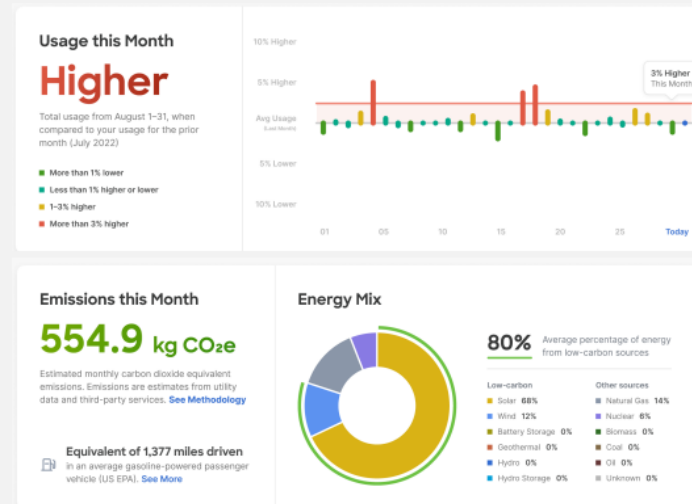
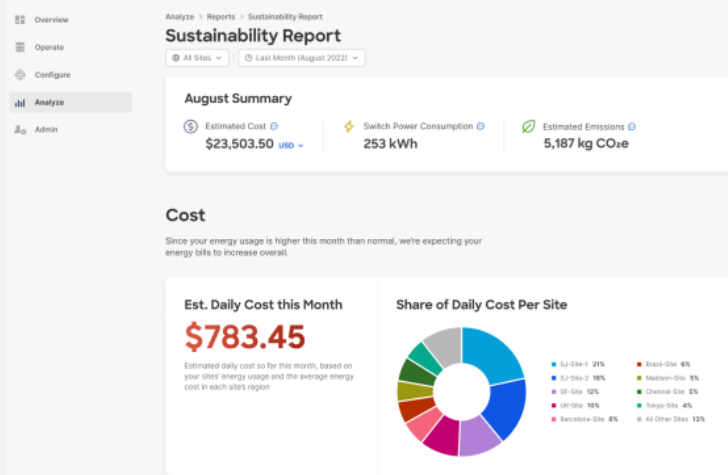
サステナブル データセンターの基盤

Nexus Dashboard: テレメトリとアナリティクスの活用

管理対象機器の二酸化炭素排出量の把握
kWhとコストを含む、過去履歴と現在の状況を把握

管理サイトが消費するエネルギー源の把握

Panduit社の配電ユニットと統合し
可視性を向上



Smart Buildings

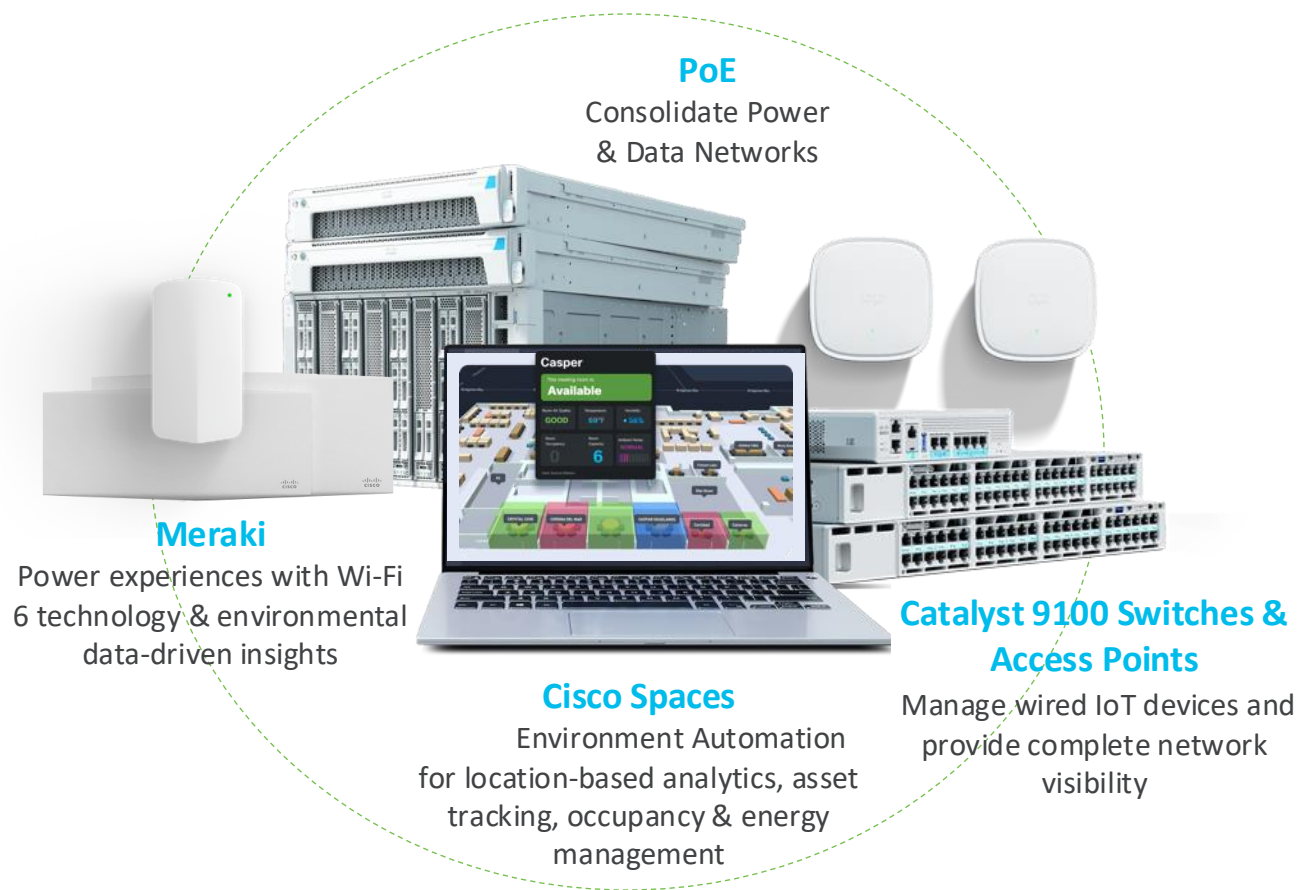
世界のCO2排出量のうち、ビルと建物が占める割合は、**37%***と試算されます。

Cisco Catalystを中心とするクロス・アーキテクチャポートフォリオによって、今日の優先事項をサポートして、ワークプレイスの変革を推進できます。
(ハイブリッドワーク、事業の継続性、不動産のデジタル化、従業員のウェルビーイング)



* Source: 2022 Global Status Report for Buildings and Construction, page 37

スマートビルディングと働く環境の洗練された体験



ソリューション

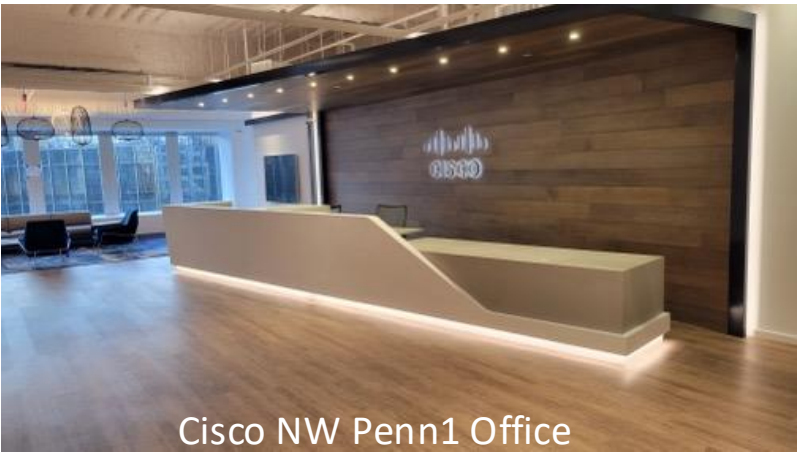
- Catalyst Portfolio
- Cisco Spaces
- Meraki MT
- 90W Power over Ethernet

実現すること

- Power over Ethernet技術を活用した照明・シェード・空調の制御
- IoTセンサーやWebexデバイスから稼働率・使用率・空気品質のデータを収集
- IT・OT・電力管理システムをカバーする統合されたインサイト

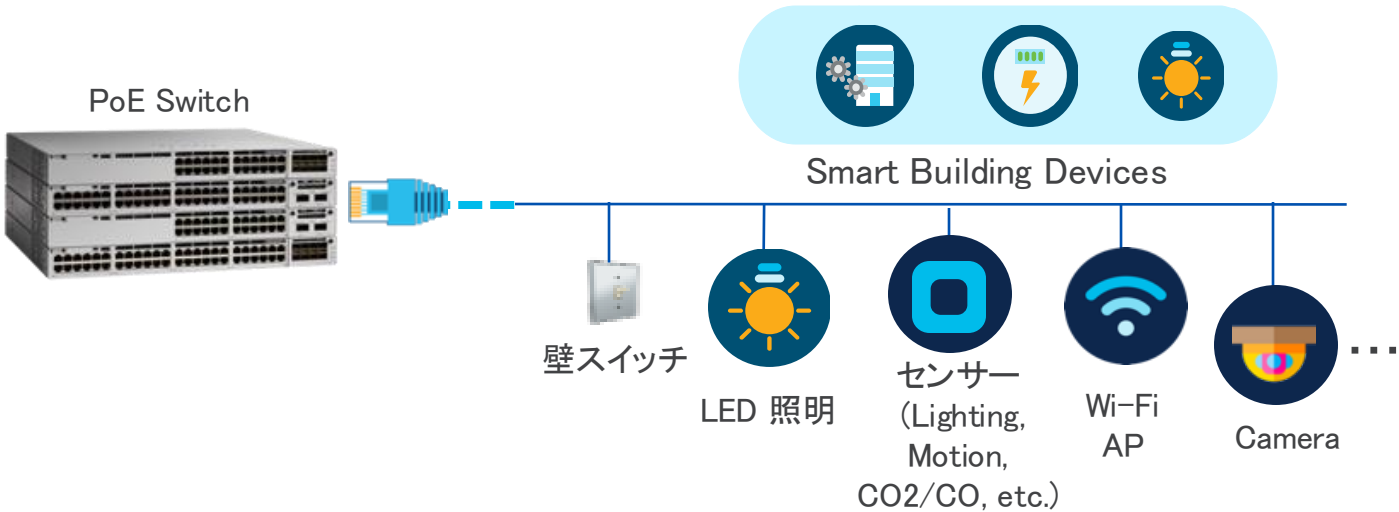
スマートビルディングと働く環境の洗練された体験

① 新規・移転オフィス案件：多くのデバイスの給電はPoE Switchから



Cisco NW Penn1 Office

<https://vr.yulio.com/B4QVFJBs00>



電源用の配管
(工事に資格が必要。漏電防止に配管が必要)



Ethernet へ
(工事が楽。Etherはネゴしてからでないと電気を流さない。安全)



会議室予約管理
環境センサー情報管理
(Smart Workspaces)



ブラインド



LED 照明



空調/エアコン



IoT センサー



USB/USB-C 給電



スマートビルディングと働く環境の洗練された体験

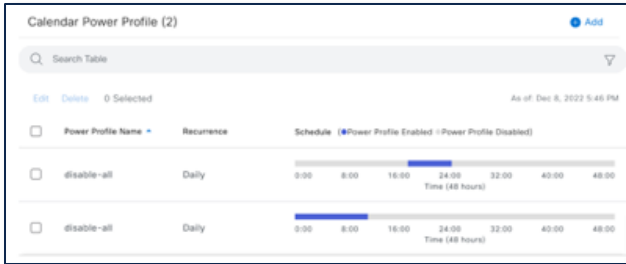
② 既存オフィス環境：測定しコントロールする（エネルギー管理とレポート）

Power Save :
9800 の電力プロファイルまたは、
Meraki のポートスケジュールによる
使用量に基づいて電力を削減します。

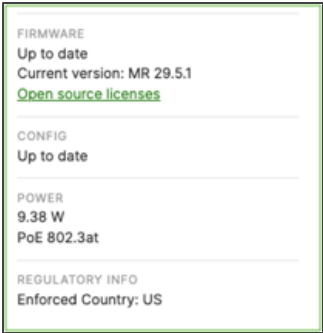
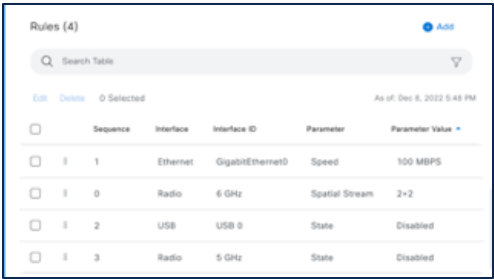
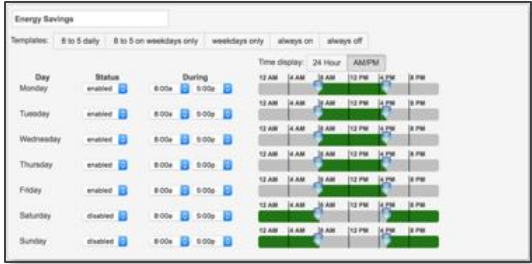
Power Distribution :
給電が何かしらで足りなくなった場合に、
優先して利用するRadioやアンテナ数を決
めておけます。

Power Visibility :
省電力モードの影響を含むエネルギー
使用量を表示します。

[Catalyst + Cisco Catalyst Center]



[Meraki]



スマートビルディングと働く環境の洗練された体験

③ 既存オフィス環境：Wi-Fiで議論に挙がるポイント



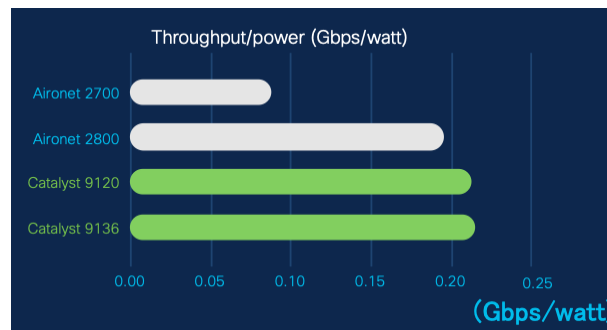
古い AP を壊れるまで使い続けます。
これってエコですね？



消費電力の低い AP は サステナブル かつ 快適か？

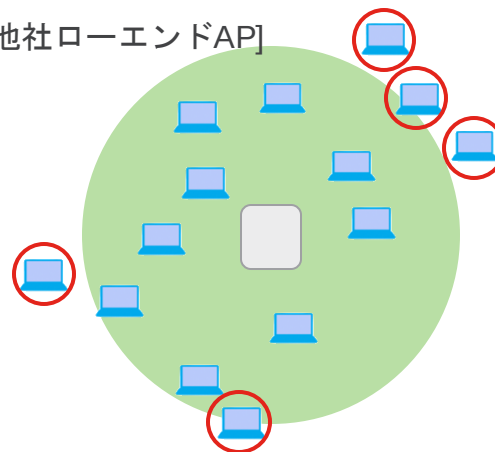


AP は常に稼働させなくてもよいのでは？



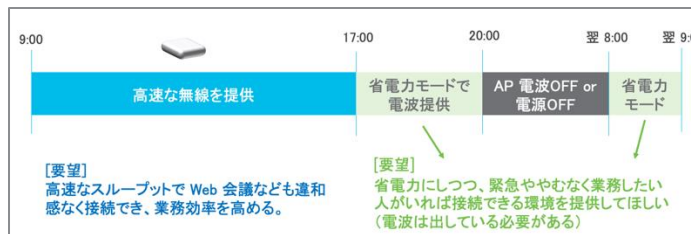
いいえ。APの世代が上がるごとに、少ないCO2排出量と低い消費電力で高スループットを提供できるため、電力コストが削減されます

[他社ローエンドAP]



[懸念事項]

- ◆ 電波到達範囲の差
 - ◆ セルエッジの速度低下端末の発生
 - ◆ ローミングの不具合
- 省電力だけでなく、業務で快適に使用できるかという観点で考えないと課題が残った通信環境に

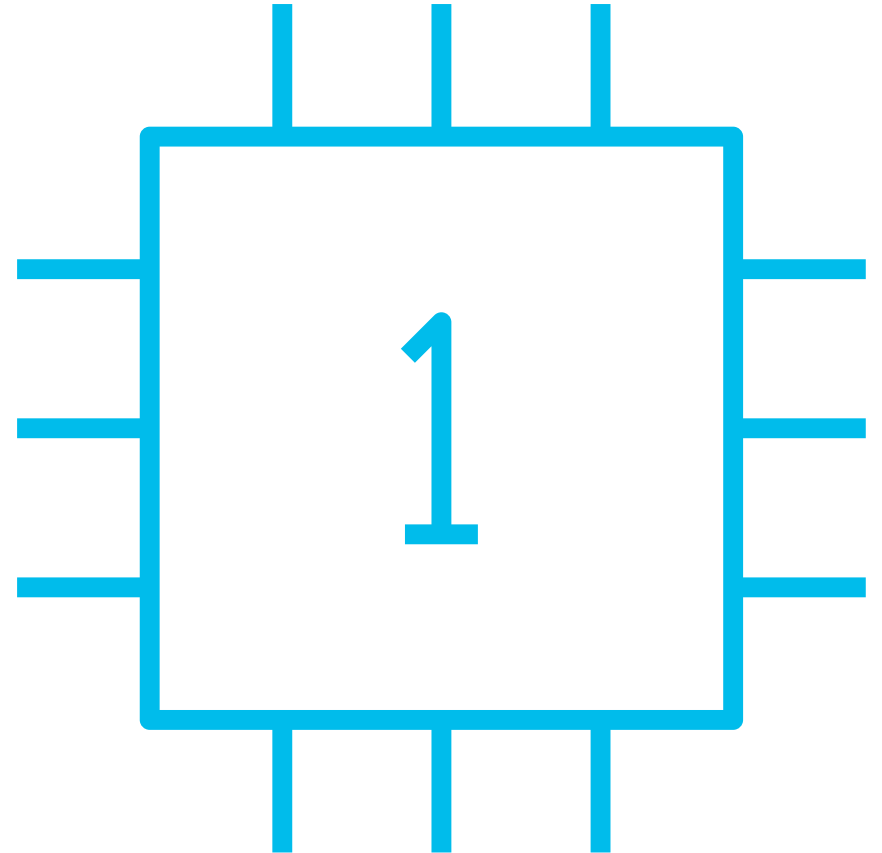


時間を決めてAPの電源OFF・電波OFF（例17時～翌9時）ではなく
AP Power Profileの省電力モードで電波は提供可に

Internet for the Future

シリコン、オプティクス、ソフトウェアの先端技術が発展していきます。

Cisco Routed Optical Networkingのアーキテクチャを採用することで、ネットワークの構築や拡張にかかるコストを削減して、持続可能なネットワークを展開することができます。



IT体験を統一化する未来のインターネット



ソリューション

- 5Gトランスポートの拡張可能なアーキテクチャ
- NCS and ASR Series
- Silicon One + Cisco 8000
- Cisco Optics and Crosswork
- 800G Capacity

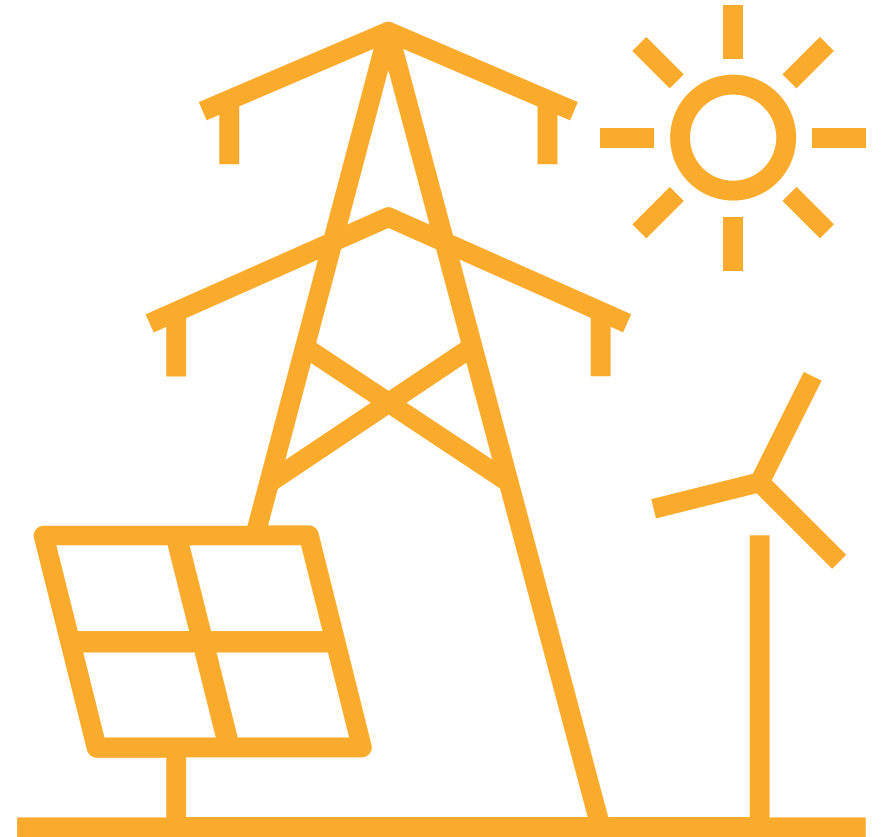
実現すること

- 高密度ルータとオプティクスとを組合せた Routed Optical Networkingによる ネットワーク階層の削減
- Cisco Silicon Oneによる性能・柔軟性・持続可能性に関する劇的な進化
- Crossworkによる深い可視性・データ駆動型のインサイト、意図に基づくアクションの活用

Industry Solutions

ハイブリッドワーク、サステナブル・
ファシリティ、再生可能エネルギーを
通して、環境目標の達成を支援します。

統合されたサステナブル・テクノロジーは、
金融業、製造業、流通業、運輸業など各産業に向け
て、サステナブル・ソリューションを提供できます。



産業別・業種別ソリューション



金融、製造、流通、運輸その他各業界のサステナブル・テクノロジーのユースケースについては、ポートフォリオエクスプローラーをご覧ください（緑の葉マーク）



Cisco industry portfolio explorer
https://www.cisco.com/c/m/en_us/solutions/industries/portfolio-explorer.htm

シスコ サステナビリティ サービス

Cisco Sustainability Services

計画

Assess your journey, define roadmaps,
plan your goals

デザイン

Explore the new sustainable network
design practices with expertise

移行

Accelerate infrastructure upgrades while
ensuring product sustainability

最適化・インサイト

Continuously optimize your metrics and
KPIs with outcomes

ナレッジ共有

Receive consulting support with
dedicated advisors

学習・資格

Learn new ways to use and reuse Cisco
technology



Shape
your journey



Scale
your resources



Sustain
what matters

カスタマー エクスペリエンスは、テクノロジーを活用することで、ビジネスとITの目標に沿った持続可能な成果をよりシンプルに実現することを支援します。

まとめ（前半）

サステナビリティはシスコ
ジャパンの注力分野

セキュリティ強化やAIの利活用促進とともに、相反するものではなく両輪でまわしていく事が重要

サステナビリティ対応
ソリューションで
お客様をご支援

特に「サステナブルデータセンター」「スマートビルディング」により、エネルギーとリソースの効率向上に貢献

産業別・業界別
ソリューションや
支援サービス

各業界のユースケースや、CXによるサステナビリティ支援サービスによる伴走型サービスのご説明

